

●畜産学科

1. 教育研究上の目的

本学科は、動物の生命現象の本質を追究する生命科学と生産物の生産から流通までの食料生産を追究する生産科学の2領域を包含している。課程を通じて生命の尊厳や倫理を学び、豊かな心を持ち、医・薬・理学の領域まで広がりを見せる生命科学関連及び良質で安全な食料を生産する生産科学領域で貢献し得る人材を養成する。

2. 教育目標

畜産学科は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。

- (1) 生命の尊厳や倫理を学び、多様な価値観に柔軟に対応し得る豊かな心を持ち、人類の幸福に貢献し得る能力を有する者。
- (2) 先端の知識・技能を修得し、医薬、環境、生命科学なども包含した動物関連領域の発展に貢献し得る能力を有する者。
- (3) 良質で安全な動物性食品の持続的な生産、加工、流通を通じて、安定的な社会の発展に貢献し得る能力を有する者。

3. アドミッションポリシー

畜産学科では、動物や動物関連産業に興味を持ち、将来の人生設計に生かすためにそれらに関わる知識・技能を身に付け、世界的な視野に立って活躍したいという意欲のある人材を求めている。

- (1) 本学科での専門科目の理解に必要な知識、特に生物、化学、数学、並びに英語の基礎的な学力を身に付けている人。
- (2) 生命の尊厳や倫理を学び多様な価値観を受け入れられる豊かな心を育み、深い洞察力を持ち、的確な判断ができる人。
- (3) 動物に強い関心を持ち、動物を通して生命現象の本質を追求する意欲があり、何事にも真摯な態度で臨み、これを活用して人類の食料・環境・健康に貢献する意欲を持っている人。
- (4) 動物の生命科学、生産管理科学、加工流通科学に関する技能を修得するための実験・実習・演習に積極的に取り組み、自分の考えを持ちそれをしっかり他人に伝える表現力を持っている人。

4. カリキュラムポリシー

畜産学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、以下の専門科目を配置し、これに従い教育を行う。

- (1) 動物の生殖、遺伝育種、生理など、動物の生命科学に関する専門的な知識と実践的な技能を修得させるための科目。

- (2) 動物の飼養及び衛生など、動物の生産管理科学に関する専門的な知識と実践的な技能を修得させるための科目。
- (3) 畜産物の利用及び動物産業の経営に関する専門的な知識と実践的な技能を修得させるための科目。
- (4) 実験、実習、演習、並びに卒業論文作成など、理解力、知識・技能の活用力、課題設定力、問題解決力、表現力、コミュニケーション能力を修得させるための科目。

5. ディプロマポリシー

畜産学科は、所定の単位を取得し、以下に示す能力が身に付いている学生に対し、学位を授与する。

- (1) 動物関連産業に関わる各種企業や団体の指導者、技術者、公務員、教員、畜産業を支える後継者や新規就農者として国内外で活躍し得る専門知識や技術を修得している。
- (2) 知識や技能を活用して、食料、環境、健康、エネルギーなど人類の抱える諸問題を論理的に解明し、解決策を見出す能力を修得している。
- (3) 社会の一員としての自覚と協調性を持ち、生命の尊厳を重んじ、高い倫理感を持って、自律的・継続的に行動する能力を修得している。
- (4) 動物に関する知識や技能を社会に還元し、自らの人生を切り拓いて行くためのプレゼンテーション能力と物心ともに豊かな人生・社会を築いてゆくためのコミュニケーション能力を修得している。